

無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集の発行にあたって

無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集編集委員会

委員長 岩井 誠人



スマートフォンや無線LAN (Local Area Network)、テレビやラジオの放送、鉄道の乗車券や電子マネーに使用されるRFID (Radio Frequency Identification) など、無線通信は今日の我々の社会生活では不可欠なものとなっている。更に最近では、無線電力伝送やBAN (Body Area Network) などの新しい応用技術についても盛んに検討され、実用化も進められている。アンテナ・伝搬技術は、これらの無線通信において必須のものであり、まさに「根幹を支える」と言って差し支えない、極めて重要な役割を担っている。

以上のような背景のもと本特集では、このような無線通信の根幹を支えるアンテナ・伝搬分野の技術に関する最新の研究成果を対象として幅広く論文を募集することとした。本特集は、いわゆるアンテナ・伝搬関連特集 (AP特集) の13号目にあたる。この一連のAP特集は、アンテナ・伝播研究専門委員会 (AP研) が中心となって企画し和文論文誌Bの毎年9月号に掲載しているものである。

今回の特集には、論文15編 (研究会推薦論文3編を含む)・レター1編の投稿があった。厳正な査読の結果、最終的に論文4編・レター1編が採択された。投稿数及び採録数ともに、例年のAP特集号に比べるとやや少ない数となっている。投稿数については、論文募集時期に英文誌などにAP関連の他特集の論文募集が重なっていたこと、採録数については、採録できるレベルに近い論文が多数存在していたが、厳正な査読の結果、それらの多くが不採録となったこと、などが影響していると分析している。論文誌は投稿する人あつてのものであり、今後の特集企画において、関連する特

集の存在や特集募集時期などについてより慎重に調査し、多くの投稿を集める投稿しやすい特集を目指す必要があると考えている。

これら5編の一般投稿論文・レターに加えて、本特集では4編の招待・解説論文を掲載した。アレーアンテナ用デカップリング・マッチング給電回路、プリントアンテナ、基地局アンテナの移相器、という、まさに最新の無線通信技術を支える根幹技術について、「これさえ読めば全てがわかる」というような論文をご執筆頂いた。また、今後の無線システムの考え方について新しい一考を示す、斬新な招待論文も掲載した。いずれの招待論文も第一線で活躍されている研究者の方々に執筆をお願いした。これらの論文が、読者が「根幹を温めて新しきを知る」ことの一助となれば幸いである。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた筆者の方々、査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集作業に御尽力頂いた編集委員の方々、そして、本会事務局の方々に、深く感謝申し上げます。

岩井 誠人 (正員) 昭62京大・工・電気Ⅱ卒。平元同大大学院修士課程了。同年国際電信電話 (株) (KDD, 現KDDI) 入社。衛星通信・陸上移動通信におけるアンテナ・伝搬及び無線通信に関する研究に従事。平16同志社大・工・助教授。平24同教授。情報学博士。平19～21本会アンテナ・伝播研究専門委員会幹事。平20本会論文賞受賞。平成15～23本会通ソ和文論文誌編集委員・英文論文誌編集委員・和文マガジン編集委員など。平23～25同英文論文誌編集副委員長。平26～同委員長。著書「移動通信における電波伝搬」。

無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集編集委員会

委員 幹事 委員	長	岩井誠人	中野雅之	北尾光司郎	木村雄一
	事	笹森崇行	岩井浩	野口啓介	深沢徹
員	員	有馬卓司	庄木裕樹		
		榊原久二男	道下尚文		
		堀智			